

「日本で最も美しい村」連合の昨年の総会。11の町村と地域の連合体に発展した＝長野県大鹿村（「日本で最も美しい村」連合事務局提供）



2 岐阜県下呂市・馬瀬地域

村のチカラ

東海地方に水と電力を供給する岩屋ダムの水源地、馬瀬川。アユの漁場として有名な清流を抱える細長い山間地が、岐阜県下呂市の馬瀬地域、旧馬瀬村だ。

二〇〇四年に周辺四町と合併する以前は、村が山村の豊かなフランスへ住民らを調査に派遣。看板を景観に溶け込む色彩で統一し、「魚付き保全民」を指定して森林と溪流魚の保護を図るなど、森と川と人がつくり出す

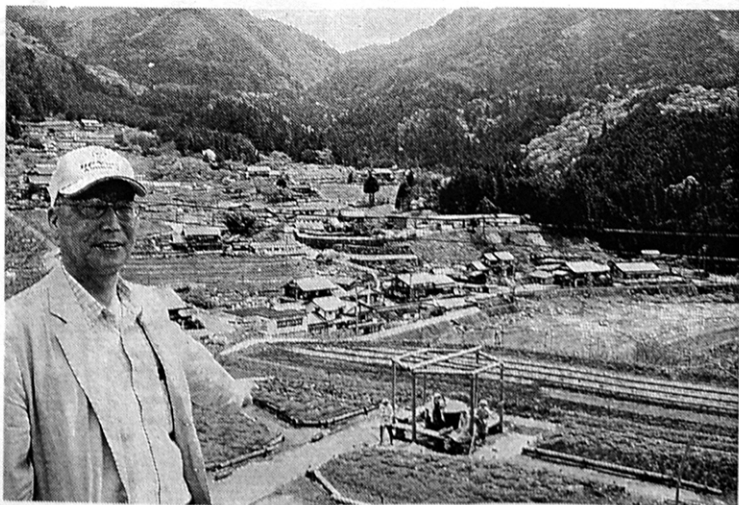
日本一アユ安定供給へ

豊かな里を目指してきた。合併後も施策が継続するよう、行政経験者と住民らで馬瀬地方自然公園・住民憲章推進協議会を設立した。だが、甘かった。

旧村役場は振興事務所になり、職員の異動が早く、権限も不十分で、独自施策が進まない。「地域のまとまりがなくなる」ということを実感した。合併が課題を解決してくれるかと思っていたのに……。協議会会長で旧馬瀬村助役の小池永司さんは話す。

そんな窮状を打開するために、小池さんが注目したのが「日本で最も美

馬瀬川とその兩岸に広がる家並み。少し手を加えればもっと良くなる。何もしないのはもったいない」と話す小池永司さん。岐阜県下呂市馬瀬地域



合併後、住民自ら再出発

しい村」連合だ。個人的な村々を紹介するフランスの運動に倣い、市町村合併で失われつつある農山村の景観・文化を守ろうと、北海道美瑛町の浜田哲町長らを中心として二〇〇五年に設立。「美しい景観と伝統文化が息づく日本の田舎は、経済成長を経て物心ともに豊かになっているので、フランス並みに外国人が訪ねる地になる」

ぶ岐阜県白川村、料理のつまものになる葉っぱのビジネスで知られる徳島県上勝町など。行政単位としての村にこだわらず、独自の景観と文化がある町や地域は加盟を認める。馬瀬地域は昨年十月、初めてこの地域加盟となった。現在、六町四村の地域から成る連合は、今後、加盟「村」を紹介する本を出版するなどの取り組みを岐阜県も評価し、本年度から県職員を小池さんらと共同で

「日本で最も美しい村」連合の第3回定期総会。11の町村と地域の連合体に発展した＝長野県大鹿村（「日本で最も美しい村」連合事務局提供）

のブランド化を目指す。加盟しているのは、畑が広がる丘陵の美しさで知られる美瑛町、世界遺産の合掌造りの民家が並ぶ

小池さんも「村時代のように重点的な投資は難しいが、住民が自らアイディアと汗で、新たな村づくりに取り組み段階に入った」と再出発に意気込んでい